

地域	テーマ	番号	項目	協議・着手	実証事業	事業化	主な実施内容
川上	萩阿武川温泉とその周辺に賑わいを創出し、シニア世代が戻り、元気に働く地域を創造する。	1	カヌーによる地域振興	○	○	○	カヌーイベント、カヌー教室の実施
		2	川上農林産物直売所の販売力強化	○	○	○	キャンプ食材の販売開始
		3	テナント山酔の集客力強化	○	○	○	山酔でイタリアンレストラン サルーテオープン R5.5月
		4	阿武川温泉の集客力強化	○	○	○	季節風呂の実施
		5	阿武川ダム湖を活用した地域振興	○	○	○	Labuフロンティア協会設立、フィッシング事業開始
		6	萩阿武川温泉公園一帯の集客力強化	○	○	○	「AbuRiverBaceCamp」ホームページ運用開始
田万川	道の駅ゆとりパークたまがわを核とした地域の賑わい創出について	1	道の駅の集客力強化	○	○		たまがわまつりの実施
		2	道の駅の情報発信力強化・商品開発PR強化	○	○	○	毎月第1土曜日の出店
		3	須佐・田万川地域の一体的な旅行商品開発	○	○	○	道の駅を拠点とした観光周遊サイクリング
		4	生涯学習団体の地域外団体との交流事業	○			
	市民農園の開設	5	市民農園の開設	○			協議・農園候補地選定
	異なる機能の小さな施設を複数創出	6	異なる機能の小さな施設を複数創出（空き家活用）				
須佐	弥富そばのブランド化	1	弥富そば飲食店事業の展開	○	○	○	R1.12.龍の里やどみオープン
		2	そば打ち体験等のプラン実施	○			
		3	そば加工品の販路拡大	○	○	○	萩そば商品販売
	地域内の空き家活用について	4	古民家を活用したガレージセール	○	○		H30.10～毎月実施 R4からは休止
	地域が賑わうイベント企画	5	地域間マラソン大会の実施	○	○		みことマラソン大会の実施
	須佐駅周辺を中心とする地域経済の活性化	6	ふれあいステーション須佐の活性化	○	○	○	H31.4～いかマルシェの開設・運営、駅前を中心としたイベント
		7	ジオパーク活動の推進	○	○	○	新規ジオガイドの増員・育成
旭	農産物加工販売所つっじの活性化	1	鮮魚の販路拡大	○	○	○	H30大島の協力で実証販売。現在は、市内の鮮魚店等と提携。
		2	新たなニーズに応える飲食営業を実施	○	○	○	軽食店舗の設置⇒パン屋が入店
		3	つっじの商品集荷サービス・送迎	○	○		集荷サービスの実証事業を実施⇒今後の展開を検討
		4	施設での野外フェスティバル等				
	萩往還を生かした旭地域のファン増加	5	萩往還の環境整備	○	○	○	地域事業計画に位置づけ計画的に推進
		6	萩往還の利便性向上と集客の仕掛けづくり	○	○	○	H31ワンデーウォーク参加者へニーズ調査、R3送迎サービス開始
	道の駅あさひと佐々並伝建地区の賑わい創出	7	伝建地区の集客力強化（集客・体験イベント）	○	○	○	木工体験、豆腐作り、どうしんてやろう会事業
		8	道の駅あさひの集客力強化	○	○	○	道の駅あさひのコンビニ化
大島	大島ブランドを広め、来島者を増やし賑わいを創出する	1	鮮魚の販路拡大	○	○		H30旭での実証販売
		2	離島留学の実施	○			教育委員会視察、学校運営協議会検討
		3	島内に特産品販売所を開設				
		4	観光客の誘致（魚釣りイベント）				
集計	12テーマ	31		27	22	17	

3か年分プラン合計	項目
19テーマ	52

協議・着手	実証事業	事業化
42	25	20

夢プランの進捗まとめ（令和元年度策定分）

令和5年3月末現在

地域	テーマ	番号	項目	協議・着手	実証事業	事業化	備考
むつみ	道の駅などの経済施設を中心として、田舎の良さを生かした取組を推進し、賑わいを創出	1	独自商品による施設の集客力アップ（商品開発）				
		2	地域ビジネスの創出	○			R4年度、住民主体の店舗運営を検討も見送り
		3	イベントに併せた交流人口の拡大	○		○	菜の花イベント、ふるさと祭りでの実証イベント 地域彩り事業で交流促進
福栄	交流事業を推進し、多くの人が地域を訪れ、将来的に福栄で起業できる人材を育成	1	民泊事業の推進	○			協議に着手。 ⇒コロナで民泊事業休止
		2	「食」「歴史的資源」を活用した交流人口の拡大	○	○	○	「ハビネスぶくえ」や「紫福ふれあい市」での交流人口拡大 事業⇒地域彩り事業で実行委員会立ち上げ・実施
		3	小中学校との連携事業	○			
三見	道の駅萩・さんさん三見を拠点とした地区の活性化	1	道の駅を拠点とした事業展開（ピワ産品拡大事業）	○			道の駅に特産品用冷凍庫を購入、ピワ茶の販売手法検討
		2	三見地区を周遊・体験する取組（体験イベント）	○			お試し暮らし住宅のオープンに合わせ協議開始
		3	釣り体験・漁家民泊事業の推進				
大井	大井農水産物ブランドのファンを増加させるとともに、だれもが住みやすいまちをつくる	1	大井農水産物のブランド化（イベント・PR）	○			R3.5月イベント開催に向けた協議するもコロナで見送り R5.5開催に向け、実行委員会立ち上げ
		2	公民館を中心とした交流事業の活性化				
見島	見島に縁のある方、出身者、島暮らしに興味のある方が見島の暮らしに魅力を感じ、移住者や島との関りを持つ人を増やす	1	見島の青年コミュニティの発足	○			見島ふれあい交流センターに若年世代、子育て世代が集う拠点づくり
		2	滞在型観光プログラムの作成、PR				
		3	見島の特産品販売力の強化	○			
		4	体験活動の受入れ				
相島	これからも相島に人が住み、島で作った農産物をたくさんの人に届けたい	1	相島特産品をPRするイベントの推進	○			スイカオーナー収穫、芋掘りフェスタはコロナで中止。
		2	定期船発着場で相島を訪れる人のための事業推進				
		3	スイカスクールの実施	○			県農業大学校にスイカスクール実習生を募集 現在のところ応募なし。
集計	6テーマ	18		12	1	2	

夢プランの進捗まとめ（令和2年度策定分）

地域	テーマ	番号	項目	協議・着手	実証事業	事業化	備考
木間	高齢者がいききと活動する元気な地区を目指す。 木間に子どもを呼び込む企画を実行し、高齢者と子どもが触れ合う機会をつくる。 木間の良さを伝え、関係人口をつくり、定住につなげる。	1	子どもをターゲットにしたイベント	○	○		交流事業を実施
		2	木間の資源を活用した交流づくり	○			廃校校舎を活用した先進事例の視察研修を実施 R3.3.5浜田市旭地区へ研修
		3	森のようちえん・保育園の遠足誘致	○	○	○	各保育園長に聞き取り。遠足の実証事業を行う保育園を選定。R3.10.22山田保育園の遠足誘致事業を実施。
集計		3		3	2	1	

3か年分プラン合計	項目
19テーマ	52

協議・着手	実証事業	事業化
42	25	20